

# 思いやり

第 17 号

発行者

名農高生徒指導部

平成31年1月16日(水)



## 3学期がスタートしました

みなさん『あけまして おめでとう』いよいよ新しい年がスタートしました。みなさんは、この正月をどのように過ごしましたか？誰もが新しい年を迎え気持ちも何となくでも一新したものだと思います。なにやら「今年こそ、こんなことをやってみようかな」とか「これにチャレンジしようかな」等々あれこれ考えたと思います。その考えたことが一番大切なことだと思います。何事も『考える(目標を持つ)』ことからスタートになるのです。そして次に、どのように『進めて行くのか(計画)』を考えるのです。進め方(計画)を決めたら、次は『行動』に移せばよいのです。プロジェクトと同じですね。あとはそれを『やる』のか『やらない』のかのどちらかになります。いかがですか？『やってみよう』とする気持ちが自分自身を動かすのです。だれも自分の変わりにやってくれる人はいません。自分自身の問題なのだから、『変わりは、いない』のです。あの時「こうやっていれば良かった」「あれをやっていたら良かったのに」等々～たら。～れば。だと後悔してしまいます。ですからあの時・・・と思わないように『今を大切に』自分自身に力(知識・技術・体力・忍耐力・集中力)をしっかり身につけて欲しいと思います。

あれこれ書きましたが、自分にできる何か一つでも良いので『自信を持って、できるもの』を身につけて欲しいと思います。年の始めに、『思いついた自分に必要なこと』をこの一年の目標にして取り組んでみてはいかがでしょうか？



## 親の立場・子供の立場



冬休み期間中に、家族との会話がたくさんできたことと思います。口うるさく言われた人もいるかもしれません。また、将来のことや進路のことで励まされた人もいるかもしれません。いずれにしてもこれは全て、君たち子供のために言っていることなのです。言われたことに対して「うるさいなあ」と思ったり「感謝した人」もいると思います。親は子供のことが気がかりでならないのです。

先日、和尚さんからお説教を聴く機会がありました。その中に「親は子供を選べない。子供も親を選べない」ということを話していました。その通りだなあと思いながら聞いていました。子供にすれば「こんな親が良かったのに」と思ったことがあるかもしれませんが、こればかりはどうすることもできません。でも君たち子供は「望まれて、生まれてきたのです」何よりも「五体満足に生まれてきたのです」子供は、五体満足に生んでくれた親に対して「まず、感謝」なのです。そして親は、一人ずつに「親の希望」を込めた「名前」をつけたのです。

親は、子供の良いところを今以上に伸びるように「誉め」、悪いところは繰り返さぬように「叱り」、これまで陰になり、日向になり、様々な葛藤を乗り越えて、君たち子供を支えて来てくれたのです。そして、子供は小学校・中学校・高校に入学させてもらい、教育を受けて一人の人間として「自立」していくのです。だから親の希望が込められた自分の名前に恥じぬよう「感謝」の気持ちを持って生活して欲しいと思います。

いつも  
ありがとう



### ◆生徒の本分◆

学校を休まない・勉強する・きまいを守る